

福島薬剤師会・福島県病院薬剤師会福島支部
2023年8月合同研修会 参加レポート

日時：令和5年8月29日（火）19:15～21:00

場所：ウィル福島 アクティおろしまち「ホールA」

「インフリキシマブBS「NK」について」

日本化薬株式会社 郡山営業所 高崎 正崇様

- ・ 日本化薬株式会社の概要 「世界的スキマ発想」
化薬→火薬事業 ダイナマイト作成していた
→セイフティシステム事業
機能化学品事業
アグロ事業
医薬事業

- ・ 注射剤 大容量規格作成、暴露対策の充実

- ・ 薬剤師向けコンテンツ
メディカルWEBセミナー
エキスパートインタビュー

「潰瘍性大腸炎の病態と治療」

福島赤十字病院 消化器内科 部長 菅野 有紀子先生

潰瘍性大腸炎：炎症性疾患であり、ワンパターンではない。新薬も増える。

- ・ 疫学 100人/10万人 受給者証 16万人に交付
クローン病との違い 年齢の違い
比較的中～高齢でも発症 発症年齢も高齢化
クローン病は10～30代に多い（若い）
機序 腸内微生物が入ってくると炎症を起こす。
微生物との反応
免疫細胞からのサイトカイン産生
免疫細胞の接着、湿潤、集積
リンパ節からの免疫細胞供給

Th1、Th2、Th17関連サイトカインの発現、病変部のサイトカイン

は個人により異なる。

ストラテジー 直腸からの炎症が特徴。

「急性期を治し、マイルドに維持する」

薬剤

- ・ 5ASA 軽～中 第一選択
 - サラゾピリン 5ASA + スルファピリジン
 - ペンタサ 時間依存性 小腸でも効果 (クローン病)
 - アサコール pH 依存性
 - リアルダ MMX-5-ASA
 - 粘膜内濃度に依存 アドヒアランス低下が課題
- ・ ステロイド 十分量で開始 3か月を目途に中止
 - ブデゾニドは注腸フォームあり
 - 骨粗、結核チェック
- ・ 生物学的製剤 点滴か注射 (高分子たんぱく質のため消化管で消化されるため)
- ・ カロテグラストメチル 5ASA で効果×
 - プレドニンと同じ位置 (プレドニン使いづらい人、禁忌に)
 - PML (進行性多巣性白質脳症) 24W 以内の投与にて防ぐ
 - 免疫抑制剤との併用×
 - 1回8T / 1日3回の服用が負担ではある。
- ・ JAK 阻害剤
 - ゼルヤンツ JAK1、JAK2、JAK3、TYK2 非選択性 広範囲に抑える
 - ジゼレカ JAK1
 - リンヴォック JAK2 } 安全性高い
 - 胎盤を通過 (妊娠希望確認)、感染症
- ・ 免疫抑制 アザチオプリン イムラン、アザニン、ロイケリン
 - 代謝産物が免疫抑制
 - 用量依存 骨髄抑制 脱毛
 - 用量非依存 発熱、関節痛、じんましん、腭炎

SDM (Shared decision making) 患者と医療者で決定していく

(文責 央戸)